巨大災害に備えて
～わたしたちにできること～

2013．8．17　岸和田市町会連合会

神戸学院大学「防災・社会貢献ユニット」 講師
NPO神戸の絆2005専務理事　金芳　外城雄

家屋倒壊の現場で(1995.1.17)

押し寄せる津波 (2011.3.11)

南海トラフ最終報告（13.5.28）

死者・不明　32万3000人→6万1000人
（内津波死者23万人→4万6000人）
避難者　　950万人
全壊・全焼　238万6000棟
経済被害額　220兆3000億円

大阪府の被害想定（13.8.8）

大阪梅田2㍍の津波、地下街の浸水ほか
地震発生後2時間、命を守るための避難を

報告書の骨子と法整備

１．迅速避難、避難所・避難路の整備と防災教育
　法整備が急務、運営は住民の手で、率先避難のすすめ
２．耐震化と防火整備　寝室だけでも
３．要援護者の優先的受け入れ　最大700万人対応は？
　避難所トリアージは可能か？神戸市災害時要援護者支援条例施行
４．自活のために家庭用備蓄を
５．被災地支援の日本全体の枠組み構築　超広域災害対応
６．地震予測体制の検討　確度の高い地震予測は困難

□2013.6.17　法制度の整備

大規模災害復興基本法の成立（国・自治体の復興手順整備）
災害対策基本法の改正（災害弱者名簿の義務化など）

神戸市の対応

- 地域防災計画の抜本的改訂
- 市内　最大津波被害　約4万世帯　8万4000人
- 現在の避難所339箇所
- 飲食備蓄　15万人計画（15年度まで現在13万5000人分）
  2013年度　応急給水拠点整備の完成（1週間分の給水、47拠点で）
- 避難掲示板の設置
- 阪神7市1町広域避難計画の策定準備
- 防災マップの作成
- 防災福祉コミュニティの活動（191箇所・全小学校区）

淡路で震度6弱
(13.4.13 午前5:33)

- 18年前の恐怖再び　屋根揺れ　道路に亀裂
- 阪神以来の揺れ　阪神と異なる逆断層型
- M6.3　　5府県21人怪我
- 重症者　7人　兵庫県5人(うち淡路島2人)
- 軽傷者16人　兵庫県9人(うち淡路島6人)
- 長周期振動淡路で　階級2(3/4)の揺れ
- 住宅損壊　1200戸超　一部で断水

「備えあり」職員対応迅速

生きた阪神の教訓

□各自治体の迅速対応

洲本市の職員500人中300人出動し

被害確認、ブルーシート無料配布など

□兵庫県の「フェニックス防災システム」の被害

想定発生7分で「死者10人、負傷者76人、

全半壊　１９４８棟、避難者1万6778人

□兵庫県の行動　非常食３千食、毛布3千枚

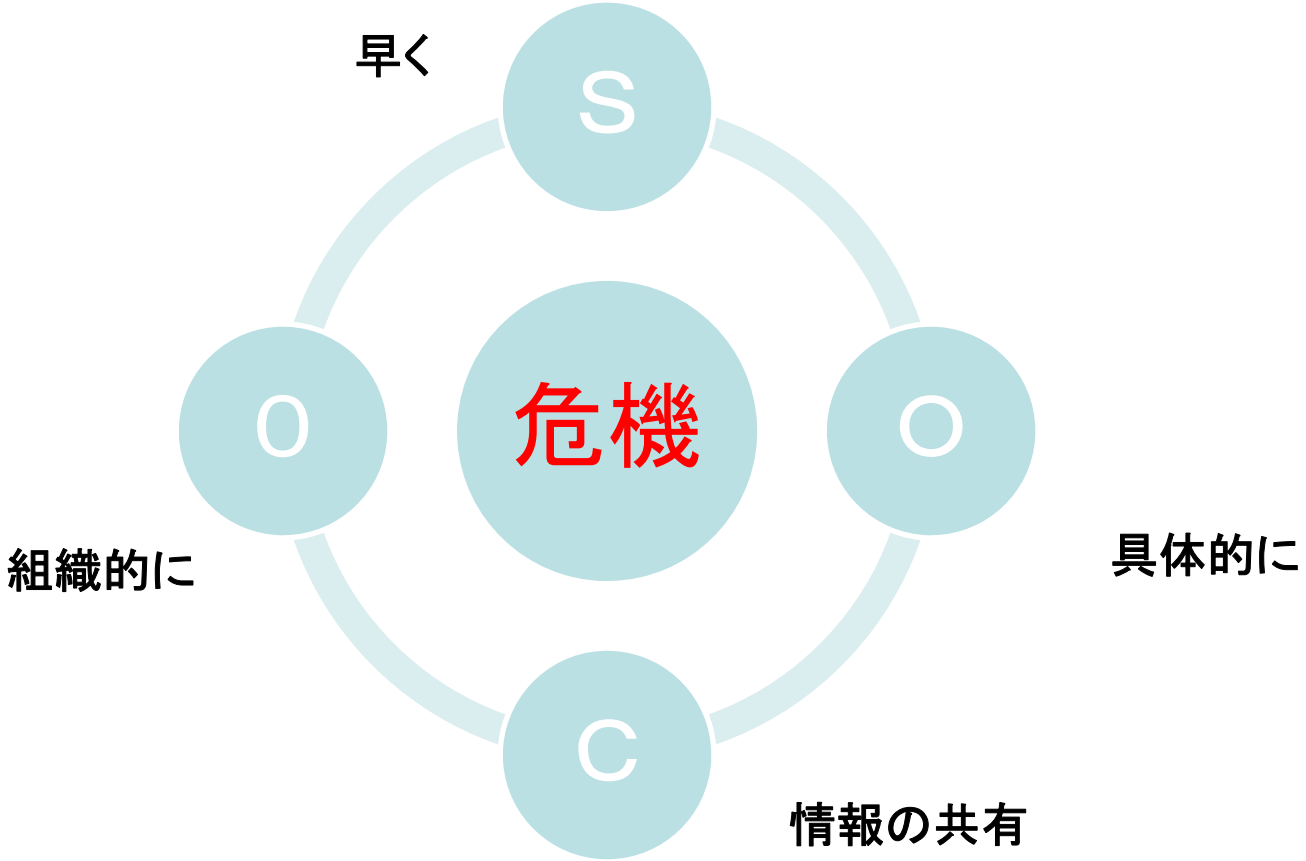
搬送三木市防災拠点から淡路島へ

■悲観的に準備し、楽観的に対処する

2030年発災予測

- 京都大学大学院人間・環境研究科教授の鎌田浩毅氏が「特別授業3・11君たちはどう生きるか」（河出書房新書、12年3月）の中で、「南海トラフで起きる巨大地震の連動は、今回の東日本大震災がただちに誘発するものではなく、まったく独立に起きるということです。というのは、南海トラフ沿いに起きた巨大地震の過去五回程度の記録を見ると、時間的な規則性があるからです。したがって「3・11」とは関係なしに、南海トラフ上のスケジュールに従って2030年代に起きる、と専門家は予測しているのです」

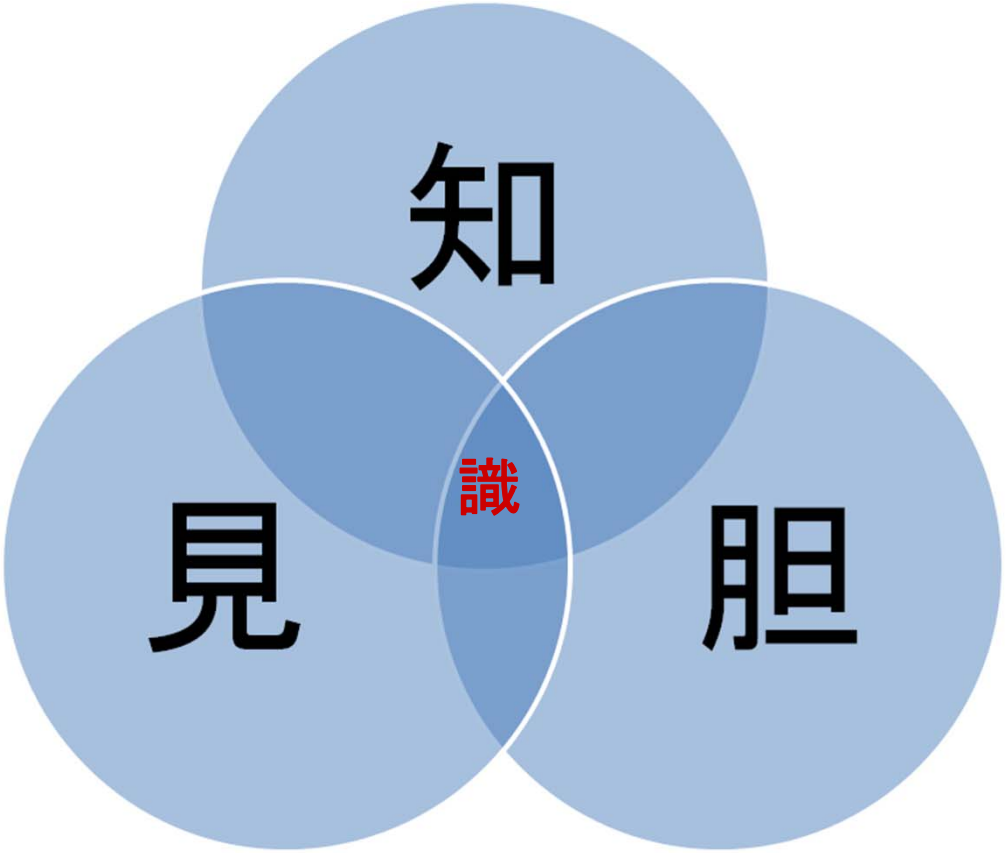
危機管理の行動4原則



SOCOにある危機に

- SPEED：迅速性　救急救命
  「いまそこの危機に対処する」
- OBJECT：具体的に　避難所対応
  「何が必要なのか」
- COMMUNICATION情報共有　発信と共有
  「悪い情報を優先し、私それやります」
- ORGANAIZATION組織で　共に立ち向かう
  「決定事項は直ちにチームで実行する」

傍観者にならない



コミュニケーション力とは

同じになるよりすれ違いが大事？

　他者の理解とは、他者と一つの考えを共有する、あるいは他者と同じ気持ちになることではない。むしろ、苦しい問題が発生しているまさにその場所にともに居会わせ、そこから逃げないとういうことだ。差異を思いしらされつつ、それでも相手をもっと理解しようとしてその場に居つづけること、そこにはじめてほんとうのコミュニケーションが生まれるのではないかと思う。

（NHKこころをよむ105頁。ラジオシリーズ2009.7　鷲田清一）

災害に備える

- 備蓄　7日　　水・簡易食料・携帯コンロ・常備薬
  ラジオ、乾電池、懐中電灯、お金と印鑑
- 家具の固定と配置
- 地域コミュニティへの活動参加
- 地域防災計画への参画
- コミュニケーション力・つながりの輪
- 住宅耐震対策
- 兵庫県の住宅共済制度　年間5千円、600万円保障

デフレ脱却論

□京大大学院　藤井　聡教授の国土強靭化

- デフレ不況からの脱出・巨大地震対策
- 欧米並みの財政出動　年間10~20兆円規模
- 国土強靭化基本法案の検討

□中野剛志氏のレジーム・チェンジ逆転の発想

日本政府は大バカ者を演じ、需要増大、内需主導、経済の政治化、雇用の安定化など

□日銀黒田総裁の物価2%目標と金融緩和

円安と株価上昇、景気上昇への期待

経済レジリエンス宣言

「強靭な日本経済を求めて」藤井聡著(13.6日本評論社）

強靭化投資によるマクロ経済効果の推計結果

1．中央防災会議の公表数値に基づくと、日本のGDPは首都直下地震や南海トラフによって60兆円程度低下し、10年間累計で500兆円程度縮小する。

2．そこで10年間で200兆円を投資すれば、巨大災害が襲ってきてもマクロ経済へのダメージは軽減され、さらに景気刺激策としても効果があり、2025年にはGDPは600兆円にまで拡大していく。

減災プラン　あなたは？

（1）備える（PREPARE）

（2）逃げる（RUNAWAY)

（3）助ける（ASSIST）

（4）伝える（NEXT）

20項目の点検
あなたは〇点？

減災プランの行動

- □住宅耐震化
- □家具の固定
- □訓練参加
- □家族会議
- □備蓄7日分は
- □避難所は
- □避難路は
- □防災マップは
- □避難ビルは
- □率先避難の教え
- □防災訓練への参加
- □防災機材は
- □要援護者の避難支援
- □救命士講習
- □ボランティア活動参加
- □防災研修
- □町の歴史
- □防災教育
- □地域連携組織
- □語り部活動

つながりの輪

□社会関係資本　R・Dパットナム「孤独なボーリング」

善意・友情・共感そして社会単位を構成する人間間、家族間の社会的交流が健康や幸福に関しての重要なキーとなる。

□地域コミュニティの連携

消防団、自治会、事業所、婦人会、老人クラブ、民生委員PTA、青少年問題協議会、警察協議会などのつながり

□トモダチ作戦

米軍1万8千人、艦船19隻、航空機140機ほか、130超える国・地域からの支援（中国、ロシア、英国、フランス、韓国、台湾、ドイツほか）

災害心理の克服

正常性バイアスと傍観者効果

私だけは大丈夫！今年も
災害にあわないだろう

人は地震や火事に巻き込まれても
多くの人はパニックにならない。

20

生活防災の重要性

- 人は興奮や緊張すると、いつもやっていること（優勢反応）をする。パニックにはならない。

  まさかの災害の時のために、正しい行動を

  「優勢反応」として身につけておくことが重要

- 避難訓練の重要性

  「聞いたことは忘れる」「見たことは覚える」

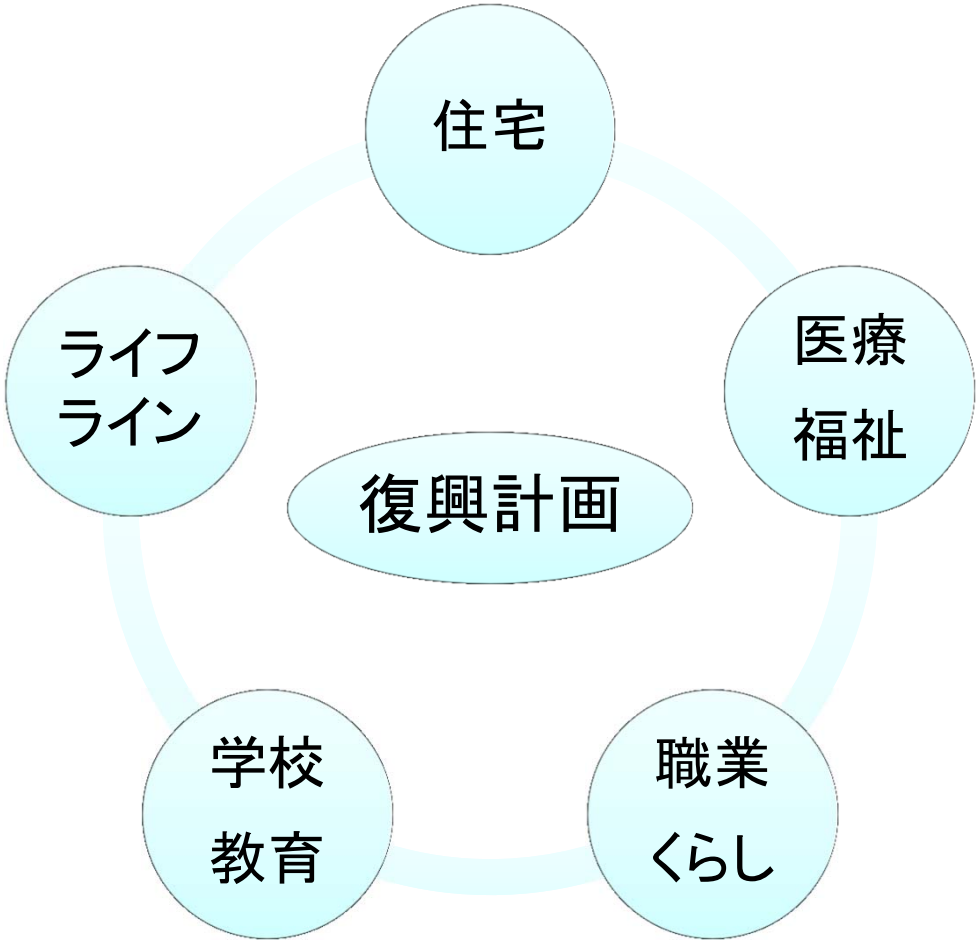
  「やったことは身につく」

21

巨大災害　４つの行動原則

- 日ごろから
- 津波警報
- 愛する人を
- こどもたちに

まちサバイバル



23

備える

- 巨大災害に備えて
- 備蓄は　　日分は必要です。
- 中でも　　が何よりも必要です。
- 住宅の　　も求められています。また
- 家具の　　はしていますか。
- 近くの　　を知っていますか。
- 避難用　　を備えておきましょう。

浜口悟陵の実践

□1854年の安政の東南海・南海地震に襲われた
　和歌山県広川町における「稲村の火」の避難誘導。

□1858年　災害後の活動　4年間1日500人を老若男
　女を問わず労賃日払いで雇用し、広村堤防を完成。

□1946年　昭和南海地震・津波に襲われる。

逃げる　釜石の奇跡

- 小中学校の児童生徒
  約 ［　　］人の ［　　］%が生き延びた

- 古くからの言い伝え ［　　］ の教え

- 愛する人を信じて ［　　］で逃げる

助ける

- 巨大災害に備えて
- 阪神大震災で学んだ助け合いは

  □　□　□

  その割合は7・2・1と指摘されています。
- 阪神大震災で学んだ三つのことは

  □　□　□

何分で死亡するか

- カーラーの救命曲線
- 心臓停止では ☐ 分
- 呼吸停止では ☐ 分
- 多量出血では ☐ 分

放置されると死亡確率は50％以上になります。

伝える

- 小中学校の □ で
- 体験者の □ 活動
- 被災地での □ 活動
- 日常時の □ 訓練

地域コミュニティの形成

社会関係資本とは何か、アメリカでの研究業績に学び、神戸発の防災福祉コミュニティの活動の取り組みに学ぶ。

2069年の日本の人口　8,764万人の長寿健康国に
65歳以上　40%　平均寿命　男84歳　女90歳
「これでいいのだ！」 大滝秀治さん　87歳
経済規模GDP比で世界の5～8位の予測

要援護者の視点

31

- 日本の現実～超高齢化社会への対応

  22%と被災者60%の現実、2055年40.5%

- 要援護者対策の確立

  防災福祉マップの作成

  支援者の二重、三重の確保

  地域に根付いたボランティア

  福祉避難所

  介護老人施設の課題

計画と実践
体制確立

防災レンジャーの活躍

学生消防団　集合！

34

721の法則

リーダーが育つ法則＝体験、出会い、研修

34

生き続けるために

□経済成長の中で　置き忘れてきたもの

大量生産にこだわるあまり品質を忘れ

競争にこだわるあまり伝統を忘れ

個人にこだわるあまり共生を忘れてきた

□漢方の生きかた　未病への対処

血の流れ　　水の流れ　　気の流れ

食道　　運動　　感動

鉄人28号　神戸は前へ